



インタビュー企画

今回は、発達障害コミュニケーション上級指導者とコミュニケーション検定1級取得者の方へのインタビューを掲載いたします。ぜひ、資格取得の参考にしてみてください！



コミュニケーション検定1級取得者

高橋 千枝様

Q1 コミュニケーション検定講習会に参加したきっかけは何ですか

以前にセミナーのプロデュースをなさっていた木蔵さんに声をかけていただいたて、アシスタントとして河野先生のセミナーに参加していました。その自然な流れで検定を受けることになりました。

Q2 1級資格を取得しようとした理由やモチベーションは何でしたか

コミュニケーションを学んで、自分ができるくらい理解、実践できるようになったのかを評価できる機会を得たいと思っていました。筆記試験以外に実技試験があるのがやる気に火を付けました。

Q3 1級講座の内容で、いちばん印象に残っているものは何ですか

トレーナートレーニングで、参加者がスピーチをした場面が印象に残っています。リーダーとはこうあらねばならないというものではなく、各人がリーダーの素質を持っていて、それを発揮できるかどうかということなのだと思えました。

Q4 資格を日常生活や仕事にどう生かしていますか

NLPをはじめとするコミュニケーションスキルが無くては、仕事も生活もできない状況になったと思います。私の皮膚の一部のように。自分の心のコントロール

ができるようになったことが学びの最大の効果です。思った通りの結果が得られなくても、落ち込むことが激減しました。資格を取得したこと、日常生活や仕事をする上で何か(どんな)変化がありましたか

相談やアドバイザーとしての業務に従事していますが、どんな相談にもたじろがず、余裕をもって対応できるようになりました。

Q6 学び続けるにあたって、どのように資金・受講計画を立てていましたか、工夫したこと等ありましたら教えてください

初回講座受講時の職種…保健師
現在の職種…保健師・公認心理師
学び続けるにあたって、どのように資金・受講計画を立てていましたか、工夫したこと等ありましたら教えてください

Q7 有効期限内(5年間)に学ばれた再受講講座や他の講座で、どのような気づきがありましたか

玉城先生の深層心理カウンセリングセミナーで心の深いところへのラポール、ポジショニングを学べたことは、カウンセリングを行う上で大きな違いを生み出したことが楽しかったです。

Q8 AMWECのコミュニケーション検定講座を学び続けていちばんよかったことは何ですか

自分が何者か、他者とのようにつながりたいのかを日常的に考える習慣ができたことです。学ぶ前の自分を覚えておきたい。そして、謙虚に学び続ける姿勢を忘れないようにしたいです。

Q9 コミュニケーションについて、これから学びたいことは何ですか



発達障害コミュニケーション上級指導者

森下 三代様

Q1 発達障害コミュニケーション初級指導者講習会に参加したきっかけは何ですか

支援員を始めたとき「野生児」と先生方から呼ばれ、体格は大人並みの中学1年の男子と毎日7時間向き合うことから「発達障害」とは何?と暗中模索している時(円形脱毛を沢山作り)にこの講習会を見つけ、藁をもつかむ思いで申込みした。

Q2 初級・中級と学ばれて、更に上級指導者資格を取得しようとした理由やモチベーションは何でしたか

支援員を続けていく中で、担当生徒が変化し(ASD、アスペルガー症候群、ADHD、場面緘黙、その他)生徒は病院診断受けていないことが多く、教師からの情報提供も少なく何が必要なのか?何が出来るのか?を知りたかったので中級、さらに上級へと繋がりました。

Q3 上級講座の内容でいちばん印象に残っているものは何ですか

発達障害児者の支援に不可欠なコミュニケーションの一つである、非言語についてとそれに係る感覚優位性の理解と実践方法についての講座です。過敏や鈍感等一人一人の違いに寄り添うためにとても大切な内容だと思いました。

Q4 資格を仕事にどう生かしていますか

対象生徒は一人ひとり違うし、同じ生徒

も日により時間や場所により変化するので、どう接したら良いのか?を考える時に講座で学んだことの引き出しを開けて色々と試していきました。生徒が少しでも笑顔で意欲が持てる様、頑張っています。

Q5 資格を取得したこと、仕事をする上で何か(どんな)変化がありましたか

支援生徒との信頼関係(ラポール形成)を築けるように、相手が話したくなるまで慌てずゆっくりと待つ姿勢と気持ちのゆとりを持つように心掛けています。担任さんや教科担任さんへのアプローチも少しずつ回数を増やすようになりました。

Q6 学び続けるにあたって、どのように資金・受講計画を立てていましたか、工夫したこと等ありましたら教えてください

私は県外から会場参加(ZOOMがまだなかった)で交通費・宿泊費も必要でしたので、支援員のパート代を貯めて充当しました。また、少しの観光時間も組み込み楽しみを追加していました。

Q7 有効期限内(5年間)に学ばれた再受講講座や他の講座で、どのような気づきがありましたか

初級受講時の職種…いきいきサポーター
現在の職種…校内サポートルーム支援員(SSR)
学び続けるにあたって、どのように資金・受講計画を立てていましたか、工夫したこと等ありましたら教えてください

Q8 この資格を今後、どんな人に取得してほしいですか

上級取得後コロナ禍になり、現地参加や他の講座も減少しましたが「魂磨塾」上級指導者交流会」のZOOMでの講座受講と交流により、自分とは違う職種での体験談や質疑応答等、何よりも講師の先生方からの情報が不勉強な私にとっては貴重で参考になっています。

Q9 発達障害について、これから学びたいことは何ですか

「発達障害」という言葉が先行している現代社会において、自分自身がしっかりとそれぞれの障害について、そして周りの人々にもそれを伝えられる人になる為に必要な事を学びたいです。

Q10 上級指導者講座を今後学んでみたい方へひとことお願いします

初級・中級まで頑張った自分自身を褒め、これから支援する生徒達の顔を思い浮かべつつ、一緒に受講している仲間と楽しみながら受講してほしいですね。